

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病

門專 腸胃病 胃性病

院醫科 腸胃病 胃性病

電話一七〇一

全 各種藥品

喫茶部開設

東京行進曲

帝都流行の
ジャズソング

波浮の港の歌手
佐藤千夜子嬢が
心地良き
管絃同伴奏で
ビクターレコードに

蓄音器・貴金屬
會田時計店
平町四(電三六三)

美味 **イノチ** 評判
オの部電話四六〇番

各種 **體器**
寒暖計 電四〇番

常新新聞

日刊 發行兼編輯人 川崎文治

本社(同番地)電話六三〇番

印刷部 電話六三〇番

定部金貳圓 廣告費五圓 印刷費五圓

日刊 日曜大祭 福島縣石城郡平町長崎町三五

電話六三〇番

刊夕日十月三年八

ユラノスケ粕取焼酎發賣

二合白瓶 貳拾五錢 (空瓶交換仕候)

平町四丁目平驛通り

永山酒造店小賣部

電話二〇七番

頭痛に即効藥

荒川のノーション

特約店 **大平屋藥店**

電話六四二番

内科、小兒科、花柳病科

藤沼醫院

入院需應

平町紺屋町
電話園平五〇七番

新築移轉

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

平町南町(舊診療所向)電話一七〇番

大和田醫院

公債、兩替 債券、質商

多田井ワカ商店

平町大工町

三十日替りプログラム

日活 新人小川隆 主演 原作 有本有義 監督 佛生寺彌作

錯覺 **研辰膝栗毛** 全

近來小氣味よき名作……笑ひの中に皮肉な哲學が存在する……映畫

日活現代派超特作名書 原作及後援朝日新聞社

脚色……木村千正男

敏腕 **朝日は輝く** 全

主演……中野英治 入江たか子

特別出演 河部五郎、梅村蓉子、葛木香一、酒井米子其他

說明 若月 柯村

常勝 阪東妻三郎が最初のザンギリ物

將軍 中村吉松、復歸更生的大飛躍決死共演

監督……犬塚稔畢生の總指揮

明治 **開化異相** 前後

緒言 原名「俄鬼」改題 十二卷

悲壯凄慘、流血、砲彈中に見る人生の大悲喜譚

太秦總動員 說明 石井 孝

土日曜 日活松竹 **平館** 電四六六

學生デー

時計貴金屬眼鏡各種蓄音器

ビクターレコード

新荷着是非御用命を

金光堂時計店へ

電話七三六番

時計、蓄音器、修繕大勉強

電話賣りたし

至急申込まれよ

御都合にては代金は御用立致し日掛にて御返済の方法も御相談に應じます

十五丁目

信用組合 平庶民金庫

思想問題と所謂道

小柳司氣太

(二)

教育の上で教育學はあるけれど、それは單に人を教へる技術のやうなものであつて、道を傳へるといふやうな方面が足りない、學校の生徒や學生と教師との間でさへも、道を學び學を教へるといふが如き考へが甚だ乏しく、たゞ學生は如何にして卒業したならば職に就くべきか、又學校の方にあつても如何にして職を授くべきかといふことのみを考へてゐるといふ状態となつてゐるのである、これは種々の世の中の經濟狀態社會狀態から來たこと甚だ憂ふべき現象であると思ふ故に、たゞ國學が盛んになり、漢學が盛んになつても恐らくは今の時代の惡風を或點までは去勢することは出来ようけれども、無論多大の期待をこれに持つことは難かしいこと、私は思ふのである、要するにこの道といふことを世人が考へて行かなければならぬ。たゞ理智にのみ走つて論理的の遊戯を以て學問の能事とするとはどうであらうかと思ふ

つまり東洋の學風は學といふ言葉なり、又教の字の意味なりによつて推察すると分るやうに、古人なり先哲なりの考へ出したことを習ひ、これを修めるといふのがこれの傳統的精神である

蚊取線香は

櫻印が一番

よくきく

平町四丁目

小野屋藥店

電話一四四番

小學教員の…… 給料減俸の請願

小柳知事の訓示がき、過ぎ 各町村無理に緊縮

濱三郡町村長會に於て小柳知事が極度の財政緊縮を強ひ昭和五年度の町村豫算編成は勿論約半歳を経過した昭和四年度實行豫算に當つても一割以上の緊縮を斷行すべしと

命令を

うけたが各町村の豫算は平町の如き事業の多い町は別としてこの他は何れも財源不況の折とて切り詰めるだけ切り詰めた豫算を作製した關係上現在この上緊縮し得る方法が見えぬ

當局者

は何れも頭痛録巻の態で某町村の如きは窮した結果小學教員の給料減俸の請願をせやうと準備中で、之れを導火線として石城地方各町村共同様の請願を爲さうと企て、居る模様である

立退請求に 延期の嚴談

各種団体事務所

石城郡實業團體事務所は平署移轉のため一時元郡會議事堂に引越したが又そこから立退きを命ぜられたので二十九日午前九時から各種團體長會議を開き協議の結果、移轉先もないのに立退きを命ずるのは産業指導を無視するものであるから縣に移轉する事務所を建築す

入山劇場

炭礦が設置

湯本町入山炭礦では現今の世相に鑑み這般従業員並に家族慰安のため山の

縁切り金一圓

朝鮮男と韓女

石城郡内郷村大字高坂磐城炭礦坑夫朝鮮人崔福萬(事田中文雄)は五日ばかり前に同村大字宮警城炭礦の飯場に女中働きをして居た朝鮮女李雪幸(を女房にするとして連れ出しては見たが同女は性來の體で新婚夢温かな陸言も交はす事の出ない所から男は嫌気がさして縁切り話となり秋の扇と同様な運命に落ちた女はけふ平署に適當なお裁きをと駆け込んだ所で此の裁き役が橋谷田部長、盛んに女と筆談を試みて後男を呼び出し結局縁切り金の話に女は十圓説を主張するに對して男は「夫れダメタ、ダメタ」と一圓説を固辭して譲らなかつたがお裁きに委せて二圓で落ち合ふ事となり兩名離れ々々に引き取つた

角眞綿傳習

各村を巡回

石城郡養蠶同業組合主催角眞綿製法傳習會は左記日割により開催の筈で講師は成田トメ、森筑シゲノ、山本さゆの三氏である

警東銀行が

支金庫取扱

植田町警東銀行では大藏大臣の認可があつたので植田

より行ふ事となつた區域は左の通りである

植田警察署、石城郡の内

泉村、植田町、山田村、

錦村、上遠野村、川部村

田人村、荷路夫村、貝泊

村、石住村

湯本町

給水設備

千天に凝りて

湯本町では既報の如く廿二

日夕刻より警崎村人字湯長

谷地内の水と入山炭礦水道

水と湯本町吹矢地内の水を

鐵管で給水しつゝ、ありやう

やく飲料水の絶無をまぬか

れたが同町では萬一を慮り

更に同町吹矢地内と笠井地

内の二ヶ所に横井戸を掘り

吹矢の分は同町親町に笠井

の分は温泉神社前の水槽に

水源より接続するやう鐵

管を敷設したので全く水難

を防げることとなつた

電話抽籤決定 平町

の今年度電話抽籤は昨廿九

ましたら、煮汁を捨て、水

を代へて再び火にかけ、極

やはらかにくなりましたら

ば裏漉にかけます。これを

白粥の出来たところへ入れ

て煮立て、火からおろして

少量の食鹽を落として軽く

かきませ茶碗にもつて白砂

糖を添へてす、めます。何

病でも回復期にはよくとう

の補助で約半額を支拂ひ不

足は本國から送付せられて

るそうである、それから治

療室、診療室、藥室、各病

室、炊事場、風呂場、事務

室、裁縫室、洗濯室、乾燥

場、孤兒養育室、養老室等

を一々説明を受けつゝ、更に

聖園と稱する託兒所を一巡

した、詳細に説明すると長

時間を要するが故に總括的

に述べることにする。聖園

に於けるが如き愛と至誠と

日午前九時より元女學校に
おいて行つた結果左記四十
口と決定した
▲無抽籤好間村役場△公
益關係者丹野市太郎、丸
山徳平、鯨岡ふみ、△當
選者片岡平三郎、吉田縁
一、石山徳雄、鈴木留四
郎、水口豊次郎、廣川榮
野三壽、利根川金三郎
並時康、白土利助、石川
忠治、坂本庄、唯野忠康
八卷新六、字佐美友二郎
濫井ちなよ、山口よしの
坂本三平、三浦康人、平
東電社、高倉精一、志賀
吟吾、多田井笑次郎、萩
原申八、荒川銀治、關彰
大橋秀冬、藤本武雄、桑
田徳二、大谷武雄、鈴木
芳之、田卷隔一、佐藤源
次郎、三瓶卓也、桑原仙
松、鯨岡徹二

石城町村長會 石城
郡町村長會總會は九月二日
午前十時から平町元商業學
募集 文藝其他投稿
を募集します

明日の
報豫氣天
南よりの
風晴れた
り曇つた
り荒模様

分を要求するものでさうい
ふ時には醫師の許しを得て
から與へます。此小豆粥は
急ぎの場合は晒箱を使つて
も差支ありません、然し砂
糖はなるべく一碗に小匙二
三杯位がよろしく餘り澤山
はいけません

共済委員制度に就て (六)

福島縣共済委員 門傳清吾

それに流動資産として現金
四萬圓内外貯蔵穀玄米白米
等十萬圓内外、其他動産什
器を加算すれば八十萬圓以
上百萬圓の資産を有するで
はないかと思はる、故に毎
年の救恤、保育、其他の支
出は其財産より生ずる収入
で十分であるから容易に永
続性の存在を認むることが
出来ると思ふ、感恩講の事
務を取扱つて居る人々は何
れも各職で實費の外は報
酬を得て居らぬのでありま
す、福島縣の共済委員に對

門傳清吾

する案内説明等實に懇切な
るもので一同感謝して歸つ
たのである、殊に貯蔵米倉
庫の如きは宏壯なもので數
棟併立し何れも貯蔵米が充
満して居るのは壯觀であつ
た

門傳清吾

(一) 聖心醫院及聖園
は秋田市保戸野新町十番地
に在り洋式の病院である秋
田縣社會課の主事の案内で
同院を訪ねた所三十五六才
から四十才位かと思はる、
胸間に十字架の徽章を附し
たる西洋婦人で聖母マリア



風かほりな
お粥の賣方

◇小豆粥 材料 米一合小
豆二勺
小豆を煮て皮に皺がよ

の如き温信溢るゝ口調、愛
の表現其もの、様な態度で
吾々視察員を歓迎し先づ涼
風袂を洗ふ二階の應接室に
招して水、やサイダーの馳
走を供せられ全く苦熱を忘
れてから徐ろに聖心醫院聖
園の説明を試みられた、そ
れに依ると此所は院主を始
め従業者は醫師を始め何れ
も婦人で且「キリスト」信
者であり、病人は何れも貧
民で現在十七八名であつた
従て何れも無料診療である
而し貧民にあらざる人でも
實費を支拂ひ醫務を受けて
居るものもあるそうでありま
す。

の補助で約半額を支拂ひ不
足は本國から送付せられて
るそうである、それから治
療室、診療室、藥室、各病
室、炊事場、風呂場、事務
室、裁縫室、洗濯室、乾燥
場、孤兒養育室、養老室等
を一々説明を受けつゝ、更に
聖園と稱する託兒所を一巡
した、詳細に説明すると長
時間を要するが故に總括的
に述べることにする。聖園
に於けるが如き愛と至誠と
に依りて萬遺漏なき手當を
以て望み又享くるものは感
謝と満足をして對して居る
ことを一瞥した吾人の脳裡
に深刻に映じたのである
斯くの如くして救貧育兒の

社會奉仕が行はれて居るの
であります。
私共は異國人の手に依る斯
くの如き人間愛の現實を觀
ることは何んといふ愉快な
そして感謝と尊敬の念に打
たれたことでありませう、
之と同時に吾人同胞にして
こうした方面の社會事業に
従事せらるゝ人の餘りに少
いこと、冷淡な人の多いこ
とを愧ぢるものであります
須らく反省して人類の共存
共榮の爲め一致協力以て同
胞の不幸と不平を除去しそ
して人生の眞の中和と幸福
とを味ひたいと思ふの情切
なるものであります